

令和6年度 第5回小松島市一般廃棄物処理基本計画策定会議 議事要旨

日時：令和7年2月20日(木)14:00～

場所：小松島市立図書館 3階 視聴覚室

出席委員

松村委員、小川委員、浅田委員、澤口委員、田中委員、松浦委員、建島委員、佐藤委員、小林委員

会議に付した案件

- 議題（1）パブリックコメントの実施結果について
- （2）小松島市一般廃棄物処理基本計画（案）について
- （3）小松島市一般廃棄物処理基本計画 概要版について

議事要旨

議題（1）パブリックコメントの実施結果について及び（2）小松島市一般廃棄物処理基本計画（案）について

パブリックコメントの実施結果について報告。

委員意見：最終処分場への運搬についても市の責任で行う範囲であると思うが、本計画と直接関係ないと回答しても問題ないのか。

事務局：最終処分場の選定経緯については、本計画と関係ないという表現にしている。

委員意見：選定の経緯については行政決定なので、それを踏まえて本計画を作ったということでもいいかと思う。本計画とは別に施設整備の計画も進んでいる。その計画はどの段階なのか。

事務局：令和5年度に基本構想を策定し、令和6年度に基本計画を策定している段階である。

委員意見：現在の段階で、施設整備についてどのように本計画に反映させることができるのか検討が必要であると考え。本計画の1ページ目に「計画期間中において、本市を取り巻く社会情勢や新たな環境問題等、大きな変化が生じた場合には、随時見直しを行うこととします。」と記載されている。ここに、「市の新たな行政計画」を追加するのも一案だと考える。  
新たな施設の稼働に合わせて、分別収集体制は変わっていくのか。

事務局：本計画の73ページに新たなごみ処理施設の処理方式に適合する分別収集体制の案を記載している。

- 委員意見 : 市民の負担にならないのか。
- 事務局 : 不燃ごみの区分が新たに設定され、不燃ごみの指定袋が追加されるが、負担はあまり変わらないと考える。
- 委員意見 : 不燃ごみに発泡スチロールや廃プラスチック類をまとめて入れることが可能になるのか。
- 事務局 : 新たなごみ処理施設の処理方式である好気性発酵乾燥方式で処理が困難なものが、不燃ごみとなる予定である。
- 委員意見 : 本計画の 27 ページに示されているごみの収集・運搬車両状況について、記載されている積載量は、年間当たりの重量なのか。
- 事務局 : 各車両の総積載量である。
- 委員意見 : 収集運搬車の運転手の採用が困難になっている話も聞いているが、実際どうなのか。
- 委員意見 : 求人を出してもなかなか応募が来ない状況であり、負担が大きい。
- 委員意見 : 直営の状況はどうか。
- 事務局 : 平均年齢も高齢になっており、今後どのような対策を行っていくか検討中である。
- 委員意見 : 実際に働いていただいている方の猛然としたご協力がないと市の収集体制が成り立たないため、確実に実行できる詳細な計画を別途年次計画等で進めていただければと思う。

### 議題（3）小松島市一般廃棄物処理基本計画 概要版について

小松島市一般廃棄物処理基本計画 概要版について報告。

- 委員意見 : 配布方法はどのように行うのか。
- 事務局 : ホームページに掲載することに加え、主要な関係機関に配布することを予定している。
- 委員意見 : 関係機関とは具体的にどこなのか。積極的に市民の皆様にごみの減量に協力いただくために、効果のある周知の仕方を検討いただきたい。
- 委員意見 : ごみ処理の課題について、市民の皆様にお問い合わせするという形で、もう少し強調してもよいと思った。
- 委員意見 : ご協力をお願いしますというニュアンスに出来るか検討いただきたい。今回、今後 10 年間の計画を考えていただき、本計画を策定した次第であるが、本計画に基づき地球環境問題が具体的に伝わるような普及をしていただけたらと思う。
- 委員意見 : 資源化率の目標値について、58.9%となっているが、具体的にどのように向上させていくのか。

- 事務局 : 本計画の 76 ページに記載しているが、新たなごみ処理施設の処理方式である好気性発酵乾燥方式によって、燃やせるごみが資源物である固形燃料となり、資源化率に計上することができるため、この目標値となっている。
- 委員意見 : 市民向けには、もう少し説明に工夫がいるかもしれない。
- 委員意見 : インターネットで一般廃棄物の収集業者を検索した際に、許可が無い違法業者が多く出てくる。市民の方はどこに取ってもらっても一緒だと思っているため、この計画を公表する際に、許可業者の周知を併せてお願いしたい。
- 委員意見 : この概要版を一目見た際、中身を見てみようという気持ちになったため、各家庭に広報を配っているように、この概要版も配布していただけたらありがたいと思う。
- 委員意見 : 日常生活で不要になったものがごみになるため、ごみ問題は大きな問題になると思う。プラスチック類の海洋汚染などの問題についても、元はごみから発生したものである。社会的に問題になることについては、企業も対策を行っており、ごみの質も変わっていく中で、どのように分別を行っていくかを考えるのが、行政に課された課題だと考える。生活環境が飽和状態となり、ごみの量はこれ以上増えないと思うが、ごみの質が変わると思うため、質の変化に対応できるようにお願いしたいと思う。
- 委員意見 : ごみの分別について、実際に出されているごみ袋を見ると、分別ができていないものがよくある。もっと分別を徹底する必要があると思う。
- 委員意見 : ごみの排出量や資源化率について、もっと進んでいると思っていた。なぜこうなっているのかを考えると、人口は減っているものの、世帯数は増えていることが要因であるのかと思う。生活排水処理についても同様と考える。
- この概要版については、子ども向けに配布してみてもどうかと思う。また、出前授業などで現状の説明をする必要があると考える。
- 委員意見 : 生活排水処理について、し尿は減少しているが、浄化槽汚泥は、人口が減っているにもかかわらず増加している。浄化槽への転換が進んでいることと世帯数が増加しているのが要因だと考える。
- また、好気性発酵乾燥方式になることで分別区分が変わるため、周知が大変になるのではないかと思った。将来に向けての周知をお願いしたい。
- 委員意見 : 概要版の配布について、印刷して各家庭に配布といった話があったが、うっかりすると、ごみになってしまう可能性もある。いかに計画を見てもらえるか、合理的な周知の方法を工夫する必要があると思う。
- 3Rに加えて、ごみになりうるものを受け取らない「リフューズ」、壊れ

たものを直して使う「リペア」についても知っていただく工夫をしていきたいと考えている。ごみ処理は市民の皆様の協力の上に立って進めていかなければならないし、成り立たないと思うため、分別の方法などについても丁寧にPR、周知していけるような行政でありたいと考える。

委員意見 : 歴史をたどると、小松島市はプラスチックを燃やすときに発生するダイオキシンの問題があり、プラスチックごみを溶融処理してきた。その溶融処理を廃止して、転換したところから市の廃棄物行政が大きく進展してきたと感じている。行政計画として本計画を策定するにあたって、情勢の変化、他の計画の進展、人材供給不足といった色々なことが、本計画を推進していくにあたって、障害になることも少なくないということに気づいた。